

## JFE システムズ株式会社

社員の利便性を確保し、高速で安全なリモート接続と PC のセキュリティ強化を実現

JFE スチール及び JFE グループとグループ外の様々な企業向けに、IT システムの企画、設計、運用／保守を提供する JFE システムズ。同社は PC 端末のセキュリティ強化も含めた高速で安全なリモートアクセス実現のために、エンドポイントソリューション「Symantec Sygate Enterprise Protection 5.1」を導入。VPN 装置と組み合わせることで、社員に負担を強いることなく、検疫も含むリモートアクセス環境と PC 端末のセキュリティ強化を実現した。

JFEシステムズでは、以前からINS回線を使って社内のシステムにダイヤルアップ接続するRAS (Remote Access Service) を利用していた。しかし、データ量が増え、通信時間が長くなり、通信コストがかさむようになったことから更新計画を立てた。

「この数年社内システムがWeb化し、アプリケーションが進化、業務スタイルも大きく変わりました。しかし、INS回線ではそれらのアプリケーションは動かず、特に営業系では業務に支障が出かねない状況になったのです」と説明するのはJFEシステムズ 開発本部 ICT基盤センター 第1ソリューショングループ グループ長 峯岸 克己氏。

加えてPC端末にはセキュリティ強化が求められていることもあり、新たなリモートアクセスの仕組みは、セキュリティの強化も含めて検討することにした。そこで最も意識したのは、接続先の社内ネットワークを守るだけでなく、接続した端末自身を守ることである。そしてそのためには、ファイアウォールやIDSなど社内インフラが持っている機能をPC端末が凝縮して持つことが必要になる。

### ロケーションを自動判定して接続する機能で、シマンテックの SSEP5.1 を選定

一方、リモートアクセス環境の構築を考えていたあるお客様の案件で、同様の調査をしていた結果、シマンテックのエンドポイントソリューション「Symantec Sygate Enterprise Protection (SSEP) 5.1」が最適と判断し、導入を決めた。

「SSEP 5.1採用の決め手は、ロケーションすなわちネットワーク接続環境を自動判定してPCのセキュリティ設定を変更するオートロケーションスイッチング機能でした。自宅、出向先から会社が支給するPCを利用してリモート接続で勤怠報告をオンラインで行いたいというニーズがありましたが、ゲートウェイ型ファイアウォールで守られている社内同様に強固なセキュリティをPC上に実現できるかが課題でした。リモート環境でも、クライアントファイアウォールをONにすれば社内同様の強固な環境にすることは可能でしたが、そのままの設定で社内に持ち込むと、社内システムと接続できなくなるなどの懸念があり、リモート接続の許可に踏み切れず、長らく悩んでいました。オートロケーションスイッチング機能を利用すれば、リモート接続する場合はクライアントファイアウォールをONにし、社内にもどればそれをOFFにするということを、自動的に切り替えることが可能であることがわかり、リモート接続の許可を進める大きな要因となりました。ユーザーが接続環境に応じて手動で設定を変更するなど負担を強いるような仕組みは使われません。SSEP 5.1であれば、ユーザーには利便性をもたらし、セキュリティに関してユーザーに負担させることなく、安全、安心を提供できると評価しました」(横田氏)。

こうしてSSEP5.1と検疫システムを組み合わせ、リモートアクセスの仕組みを作ることを決めたJFEシステムズでは、ポリシーを変更し、持ち出しPCのアクセスルールを明確化した。具体的には、今まで禁止していた会社支給PC端末の社外利用を見直し、ハードディスク暗号化ツールや管理ソフトの導入を前提に、

### PC のセキュリティ強化も含めて安全で高速なリモートアクセス環境構築を計画

JFEシステムズ株式会社(以下、JFEシステムズ)は約40年にわたり、大規模で難易度の高い鉄鋼業システムを手がけ、その中で培ってきたシステム構築、運用技術力を様々な業界の企業に提供している。その中でICT基盤センターは、JFEスチール、そのグループ会社、および一般顧客のITインフラの企画、構築、運用を担当する部門だ。JFEグループと一般顧客での経験を融合させて事業を進める同センターでは、顧客企業のインフラの隅々まで配慮した運用段階までを見越した設計を行うと共に、データセンターでの24時間365日運用を始め、上流から下流まで一気通貫での運用ビジネスも展開している。

#### 企業情報

1983年、川鉄システム開発として設立、1986年には川崎製鉄本社システム部門を統合。2004年に現社名に変更し、現在東証2部上場のシステムインテグレーターとして、ITシステムの企画、設計、運用／保守を行っている。

(<http://www.jfe-systems.com>)

#### 業種

IT サービス業(システムインテグレーター)

#### エンドースメント

「SSEP 5.1 は社内ネットワークが持つセキュリティ機能をPCに凝縮させると共に、社員に利便性を提供しながら、負担を強いることなく、安全、安心を実現するベストなソリューションです。」

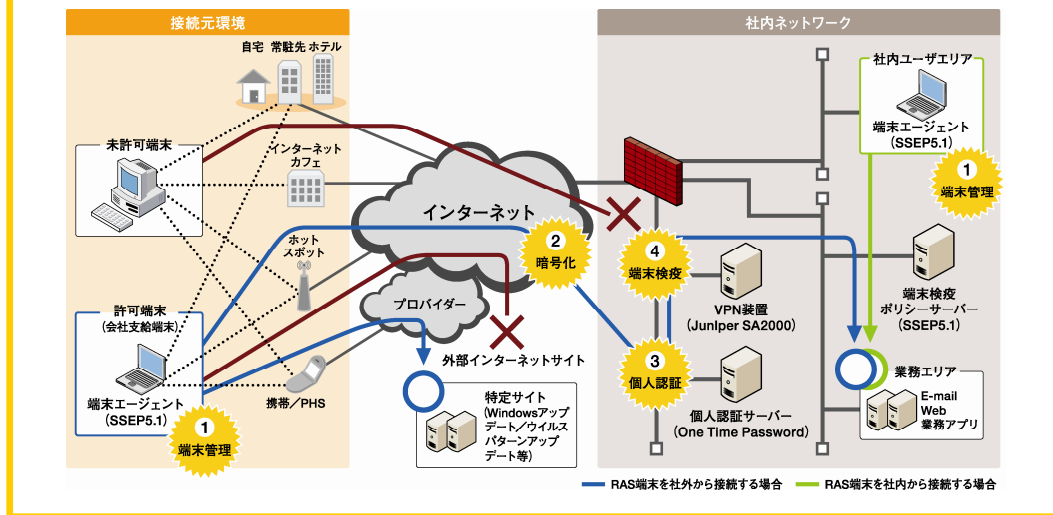


JFE システムズ株式会社  
開発本部 ICT 基盤センター  
第 1 ソリューショングループ  
グループ長  
峯岸 克己 氏



JFE システムズ株式会社  
開発本部 ICT 基盤センター  
第 1 ソリューショングループ  
課長  
横田 一弘 氏

図. SSEP5.1 のオートロケーションスイッチングを使ったリモートアクセスの仕組み



ビジネス上の必要要件

- ・ 高速なリモートアクセスによる業務環境の改善

- ・ 持ち出し PC のセキュリティ強化

環境

- ・ Windows Server 2003
- ・ Windows XP Professional

導入製品

- ・ Symantec Sygate Enterprise Protection (SSEP) 5.1

導入製品による効果

- ・ 高速でセキュアなリモートアクセス環境を実現

- ・ 自動でロケーションを判断、ユーザーに負担をかけることなく、安全に接続

- ・ パーソナルファイアウォールやIDSなどPC 端末へのセキュリティの強化

- ・ 営業活動の時間効率化



JFE システムズ株式会社  
開発本部 ICT 基盤センター  
第 1 ソリューショングループ  
課長 白島 賢氏

PC 端末の外部からの社内ネットワークに対するリモート接続を認めることにした。

「それでも、便利なのは分かるが、社内ネットワークへアクセスさせるのは危険ではないかという声社内から出ました。そうした不安感を払拭するために、実機を使ってテスト環境を構築。実際に動作させて、役員や内部統制担当の品質管理部門に説明。安全であることを納得してもらいました」と語るのは JFE システムズ 開発本部 ICT 基盤センター 第 1 ソリューショングループ 課長 白島 賢氏。

その上で、同センターではリモートアクセス環境の構築に入り、2007 年 11 月、新しいシステムを稼働させた。新システムは、端末検査ポリシーサーバー-SSEP5.1 と VPN 装置 Juniper SA2000、個人認証サーバーから構成され、SSEP5.1 で PC 端末のロケーション管理とセキュリティを確保している(図)。ロケーション機能によって、PC 端末が社内であればそのまま接続させる。一方社外であれば、Juniper でデータの暗号化や端末の検査を行い、Windows アップデートやウイルス定義ファイルの状態を確認。問題がなければ、社内ネットワークに接続させる。

「一番苦心したのは、ロケーションを自動判定するための情報の組み込みです。アクセス場所は、ホットスポットや空港、駅の構内、それぞれ異なった接続方式のホテルなど、様々です。そこで、実際に現地に行って接続方式を確かめ、情報を収集しました。外部に提供していく場合、企業によって接続ポイントの性格が異なってくると思いますが、今回のシステム構築で、ロケーション自動判断のためのノウハウはかなり蓄積できたと考えています」(白島氏)。

内部統制の観点も含めて、エンドポイント対策をさらに強化

回線スピードが高速になったことから、新しいリモートアクセスの評価は極めて高く、登録ユーザー数は INS 回線時代の 150 名から 500 名に拡大、営業部門のほとんどの社員と JFE スチールの各製鉄所に常駐するエンジニアが利用するようになっている。「営業は SFA を使った活動がベースになっていますが、それを使うために会社に戻る必要がなくなり、無駄な時間がなくなりました。エンジニアも大容量ファイルのやり取りが安全にできるようになりました。そして、それが 3 倍以上のユーザー数となって現れていると思います」(白島氏)。

現在 JFE システムズでは、シマンテックの次世代アンチウイルス「Symantec Endpoint Protection (SEP) 11.0」を検証中で、従来から使用してきた Symantec AntiVirus Corporate Edition のアップグレードとして、2008 年中には導入の目処を付けたいと考えている。「ハードディスク暗号化などのソフトを搭載しているため、高い処理能力を持った PC でもパフォーマンスが問題になります。SEP 11.0 は今までよりも軽く動作すると聞いていますので、できるだけ早く導入したいと考えています」(白島氏)。

エンドポイントの対策としては今後も今まで使っている機能が中心になるが、内部統制の関係で、品質管理部門がデバイス制御による社内の全端末に対する情報漏洩防止の強化策を検討しているため、今後これらの機能を含めて、新たに活用する可能性もある。そうした面も含めて、シマンテックのセキュリティソリューションに対する JFE システムズの期待は大きく高まっている。

\* ©2008 Symantec Corporation. All rights reserved. Symantec, Symantec ロゴは Symantec Corporation の登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。  
\* 製品の仕様/価格は、都合により変更することがあります。本カタログの記載内容は 2008 年 7 月現在のものです。

株式会社シマンテック

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ

www.symantec.com/jp/contact

お問い合わせ先



マクニカネットワークス株式会社

本社 〒222-8562 横浜市港北区新横浜 1-5-5  
TEL.045-476-1973 FAX.045-476-1976  
大阪営業所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 3-4-30 ニッセイ新大阪ビル 17 階  
TEL.06-6397-1055 FAX.06-6397-1056